

# 英語の個別読解指導

—ESLコーナーの利用—

北尾謙治

## はじめに

わが国の英語教育は明治時代から西洋文明を吸収するための精読が中心で、英米人の書いたエッセイや短編小説を中心とした訳読である（橋本，1977；小木野，1983）。国際化が急速に進む今日ですらこの訳読中心の英語教育は中学校，高等学校，大学とレベルが上がるに従って顕著である（小池他，1983）。その結果，よく「日本人は英語が読めるが話せない」と言われるが，日本人が英語を読めるのは疑わしい（松村，1984；竹蓋，1982）。本来読解とは「書かれたり印刷された言語記号の意味のある解釈」（Harris & Sipay, 1975）であるが，クラスで学習者を観察していると，英文を日本語に置き換えた後ですら意味を理解していない者が多数いる（Kitao, 1983）。

最近国際化の急増と共にコミュニケーションの手段としての英語を体得する必要性が重要視され，中学校や高等学校では言語活動が強調され，大量の英語の母国語話者を導入してより実践的で総合的な英語運用能力の向上が目指されている。しかしその反面，英語教育の時間数は短縮され，聞き取り等の言語活動に時間が割かれ，読解の訓練は益々減少している。

1981-1984年間に延べ数千人の高校生と大学生の英語の読解力を調査したが，読解力が低いのみならず読解スピードも非常に遅かった（北尾・宮本，1982；北尾・宮本，1983；北尾・吉田，1985；北尾他，1985；北尾他，1986；吉田・北尾，1986）。

この小論において英語の読解力をつけるための個別指導の実践報告とそれに関する調査結果を基に、英語での読書の個別指導の可能性を論ずる。

### 英語読解の個別指導

毎年担当している英語のクラスでテキストの調査をしているが、多くの者が満足していない。テキストが担当の教師、学校関係者等により決定されて、学習者は選択をすることなく長年学習してきた。私の担当した学習者の多くはテキストと指定された副読本以外読んだことがなく、自己の意志で選択した英語の図書を読んだことがほとんどない。

大学のテキストは最近分量が非常に少なく (Yoshida *et al.*, 1986; Kitao *et al.*, 1987; Kitao *et al.*, 1988), 5,000-10,000語の範囲で語数の少ない方が大多数と推測される。この分量は益々減少し、5千語以下を希望している出版社も多い。これでは学習者の英語の読書量は益々減少し、読解力も落ちる。学習者は決して少ない読書量で満足しているのではなく、何とか自分で英語の読書を試みる者もいるが、英語力不足でなかなか読めない。

アメリカでは読みの指導は低学年から個別化が進んでおり、学習者の能力、興味、学習意欲等に合った図書を学習者が選択して、最初の1-2ページを教師と読み、難易度が適切であればそのまま読み進むような授業形態もある(鳥谷他, 1987)。

アメリカやイギリスでは英語を母国語としない人々のための図書やテキストの中にグレイデッドリーダーズ (graded readers) と呼ばれ、主に語彙レベルで難易度を示したものが数百冊出版されている。これらは易しい英語で書き下ろしたものと有名な図書を易しく書き直したものがある。英語の図書の難易度は語彙、話の長さ、各文の長さや文法的な複雑さ、予備知識等種々の要素により決定されるが、語彙が最も影響力が強く、語彙レベルで難易度を示すことは信頼性があり、これを基にクラスのテキストや課外の読書指導が行われている (Hill & Thomas, 1988a)。

グレイデッドリーダーズはクラスライブラリーとして課外の読書指導に利用されることが多いが、アメリカでは Shanefield (1986)が1972年以来プリンストン公立図書館に外国人や移民が英語を自主的に学習できるように ESL コーナーを設置した例を紹介している。女史は図書館に毎年20数冊ずつのグレイデッドリーダーズを購入し、1986年までに300冊以上の蔵書のある ESL コーナーを充実した。この ESL コーナーの特徴は、図書が語彙により初級 (300-1,000語)、中級下 (1,000-1,800語)、中級上 (2,000-3,000語) と上級 (3,000-7,000語) の4段階の難易度別に種分けされ、利用者が各自の英語力に合った図書を容易に見つけられるようにしたことであろう。中級が2つに分けられているのはここを境界とする学習者が非常に多いからである。この4段階の選別は出版社のカタログを中心に比較的簡単にされている。この女史の試みにより、多くの学習者が英語の図書を読み、始終多くの図書が貸し出され、英語学習者の読解力の向上に十分貢献してきた。

この女史の学習者が自主的に英語の読書をするアイデアの実践と課外の個別読書指導を目的として、我が大学の図書館に1988年4月より ESL コーナーが英書コーナーの一角に開設された。鳥谷氏の作成した英語のグレイデッドリーダーズの一覧表 (北尾・鳥谷, 1988) に掲載された初級 (語彙数999語以内) 約70冊、中級下 (1,000-1,999語) 約70冊、中級上 (2,000-2,999語) 約35冊、上級 (3,000語以上) 約35冊が備え付けられ、一般学生が館内の利用はもちろん館外貸出し利用も出来るようになった。これを利用して英語の個別読書を9クラスで実施し、学習者の英語力が異質の再履修生のクラスを除いた8クラスの結果を検討する。

### 英語の個別読書指導の試み

被験者は1年生6クラスと2年生2クラスの315名を対象に実施した\*。これは4月のはじめの登録者数で、実際に参加した者は300名である。

蔵書が200冊余りなので、学習者の関心のあるものが読めるように実施期

間はクラス7と9が4月中旬から4週間、クラス8が4月中旬から5月末までの6週間、クラス1-6は5月下旬から6月下旬の5週間として、図書の利用の重複を少なくした。

実施方法は、クラス担当者が英文の英語の読書の勧め (Appendix A) をクラスで配布、説明し、読書を強く勧める。全蔵書のリストも配布説明する。課題の説明と共にレポート (Appendix B) も配布し説明する。クラス1-6は自由課題で、実施してレポートを提出した場合には、表2の条件で、100点満点の最終成績に条件の点数を最高10点まで加算することが約束される。故にクラス1の学習者が初級の図書を読み、レポートを提出すると最終成績が1点上がることになる。クラス7-9は宿題で点数の加算は約束されない。さらに6月末から7月始めにかけてこの課題に関するアンケート (Appendix C) をその日の出席者全員に実施する。

英語の読書の勧めでは、図書館の ESL コーナーの紹介、グレイデッドリーダーズと4つの難易度の説明、自分の好きなものを辞書なしで気楽に読むこと等が強調される。レポートには書名、出版社、レベル、大きさ、頁数、トピック、登場人物、話の時と場所、読書の所用時間、内容と英語に関する問が数問、及び裏に要旨と感想を書く欄が設けられている (Appendix B)。アンケートには参加の是非(1)とその理由(2,3)、テキスト以外で以前に読んだ英語の図書の冊数(4)、ESL コーナーの状況(5,7)、機会の提供の是非(6)、追加点(8,9)、このような課題をする時期(10)、読みたい図書の種類(11)やレベル(12)の問が含まれている (Appendix C)。

レポートは自宅で、アンケートはクラスで記入され、その内容はすべて学習者の自己申告制度で行われた。以上のデータは学習者のコメントを除きすべてコンピューターを使用して、サスで統計処理して分析された。

## 結果の分析

参加者の学年、専攻、人数と実際に英語の図書を読んだ者の人数、回収レ

ポートとアンケートの数を表1に記す。

表1 各クラスの被験者と回収されたレポート  
及びアンケート枚数

| クラス    | 学年 | 登録者数 | 読者数 | レポート | アンケート |
|--------|----|------|-----|------|-------|
| 1 (経済) | 1  | 46   | 8   | 16   | 35    |
| 2 (経済) | 1  | 45   | 7   | 21   | 41    |
| 4 (電気) | 1  | 43   | 23  | 55   | 39    |
| 5 (社会) | 1  | 42   | 12  | 22   | 40    |
| 6 (電気) | 1  | 42   | 19  | 39   | 38    |
| 7 (法律) | 2  | 39   | 35  | 35   | 35    |
| 8 (商学) | 1  | 46   | 46  | 51   | 46    |
| 9 (混合) | 2  | 12   | 11  | 11   | 11    |
| 計      |    | 315  | 161 | 250  | 285   |

全登録者は315名だが、定着しなかったり、諦めたり、長期の病気等で参加していない者も15人いるので、実際の参加者は300名である。そのうち161名が実際に読書してレポートを1枚以上提出した。宿題のクラス7-9は1名を除き92名が、他の任意参加のクラスでは3分の1の69名が参加した。

同一学習者が複数の図書を読んでいるので、任意参加のクラスでは153枚のレポートが提出され、1人平均2.2冊読み、最高10冊読んだ者がいる。宿題の場合は87名が1冊読んだが、クラス8の場合5名が2冊読んでいる。表2の右のように各レベルの図書が読まれた。

アンケートの枚数が多いのは、その実施日の全出席者が返答したからである。宿題のクラスでは全員の92名、任意のクラスでは約93%の193名より回収した。

**レポートの結果** 参加者は宿題の場合クラス7の1人を除いて全員、任意参加の場合はクラス4が23人で最高、クラス1が8人で最低である。この分布より、任意で参加した学習者は初級を読む者の割合が非常に多く、点数では2点獲得しようと試みる者の比率が高い。しかし、クラス間の分散分析に

表2 各クラスの課題の条件と読まれた図書の冊数

| クラス       | 条件 | 追加点  |    |    |     | 読まれた図書の冊数     |              |             |            |     |
|-----------|----|------|----|----|-----|---------------|--------------|-------------|------------|-----|
|           |    | (初級) | 中下 | 中上 | 上級) | 初級            | 中下           | 中上          | 上          | 計   |
| 1 (経済)    | 任意 | 1    | 2  | 3  | 4   | 11            | 5            | 0           | 0          | 16  |
| 2 (経済)    | 任意 | 1    | 1  | 1  | 1   | 9             | 8            | 3           | 1          | 21  |
| 4 (電気)    | 任意 | 2    | 2  | 3  | 3   | 49            | 5            | 1           | 0          | 55  |
| 5 (社会)    | 任意 | 1    | 1  | 2  | 3   | 9             | 3            | 9           | 1          | 22  |
| 6 (電気)    | 任意 | 1    | 2  | 2  | 3   | 18            | 21           | 0           | 0          | 39  |
| クラス1-6の合計 |    |      |    |    |     | 96<br>(62.7)  | 42<br>(27.5) | 13<br>(8.5) | 2<br>(1.3) | 153 |
| 7 (法律)    | 宿題 |      |    |    |     | 18            | 12           | 4           | 1          | 35  |
| 8 (商学)    | 宿題 |      |    |    |     | 32            | 14           | 4           | 1          | 51  |
| 9 (混合)    | 宿題 |      |    |    |     | 9             | 1            | 1           | 0          | 11  |
| クラス7-9の合計 |    |      |    |    |     | 59<br>(60.8)  | 27<br>(27.8) | 9<br>(9.3)  | 2<br>(2.1) | 97  |
| 全体の合計     |    |      |    |    |     | 155<br>(62.0) | 69<br>(27.6) | 22<br>(8.8) | 4<br>(1.6) | 250 |

( ) 内はパーセント

は有意差がないので、どのような条件で学習者が参加するか、どのレベルの図書を読むかは、断定できない。

課題が宿題と任意参加で、読まれた図書のレベルの分布はほぼ同じである。ただ任意のクラスは条件により、1点ではなく2点までは何とか獲得しようとする者が40人見られるが、3点獲得しようとした者は2名に過ぎない。しかし点数がどの程度動機付けに役だったかは上記同様断言はできない。

ただ表2より明確なことは、読者の62%が初級を読み、中級下（語彙レベル2千語未満）を読んだ者28%を合わせると90%にもなることである。アンケートのコメントや個別に聞いていることから、学習者は英語に自信がなく、まずは初級から読み始め、2冊目以後上のレベルに挑戦した者が多いよ

うだ。

250枚回収したレポートを読まれた図書のレベルで分類して、各項目の結果を表3に示す。

表3 レポートの結果

|     | 頁数 | 時間   | 興味   | 成熟   | 有益   | 満足   | 推薦   | 構成   | 文法   | 語彙   | 英語   | 知識   | 理解   |
|-----|----|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|------|
| 初級  | 33 | 1:40 | 4.15 | 3.03 | 3.17 | 3.90 | 4.00 | 3.79 | 4.92 | 4.85 | 4.94 | 4.54 | 4.90 |
| 中級下 | 75 | 5:47 | 4.90 | 4.48 | 3.81 | 4.54 | 4.41 | 4.56 | 4.35 | 4.28 | 4.25 | 4.09 | 4.34 |
| 中級上 | 89 | 6:50 | 5.00 | 4.73 | 4.18 | 4.91 | 4.32 | 4.64 | 3.86 | 3.55 | 3.68 | 3.91 | 3.86 |
| 上級  | 91 | 4:50 | 4.25 | 4.50 | 3.50 | 4.50 | 4.50 | 5.00 | 4.00 | 4.50 | 3.75 | 4.75 | 4.00 |
| 全体  | 51 | 3:19 | 4.44 | 3.60 | 3.44 | 4.18 | 4.15 | 4.09 | 4.66 | 4.57 | 4.62 | 4.36 | 4.64 |

頁数ではレベルが上がるにしたがい33-91頁と増加し、平均は51頁である。読書にかけた時間も、初級では1時間40分であるがレベルが上がるに従い長くなり、平均は3時間19分である。上級の時間は短くなっているが、これはわずか4人で獲得する点数を上げるための者は2人だけであるから、英語力に自信があるか、強い関心のある読者で、このような結果になったと思われる。以後上級はクラス間の分析から除外する。

図書が「興味深いかどうか」以後は1-6のうちの一つを選択する方式で、3.5が中心である。興味深いのが6で退屈が1、全体の平均が4.44で、レベルが上がるほどより興味深いと判断されている。「図書の内容が子供ほいかどうか」では、全体で3.6でわずかに否定されており、レベルが上がるに従いその割合が高い。しかし、初級は3.03で子供ほいと判断されている。「有益かどうか」でも同様の結果であるが、全体的にもわずかに有益でないとの判断である(3.44)。しかし、「満足しているかどうか」ではすべてが肯定で、レベルが上がるほど高くなる。「友人に推薦するかどうか」も、肯定的に返答し、レベルが上がるほど数値も高くなっている。このように図書の内容に関する5問では、「子供ほいかどうか」と「有益かどうか」で初級を除いて、

興味深く、子供っぽくなく、有益で、満足し、人に推薦でき、レベルが上がるほど、その傾向が強い。

図書の英語の面では6問あり、「話の構成」ではレベルが上がるほどよく、全体的には4.09でよいとの判断である。「文法」、「語彙」、「総合的な英語」はすべてレベルが上がるほどより難しいとの判断であるが、全体的には各々4.5以上で容易で、比較的易しい英語と思っている。「話を理解するのに予備知識が必要かどうか」ではレベルが上がるほどより必要であるとの判断であるが、全体としては4.36で必要性は少ないとの判断である。「話の理解度」はレベルが上がるほど落ちるが、全体では4.64で理解できると思っている。

図書の難易度の4レベルを独立変数として、頁数、読書時間と以上の11問を従属変数として分散分析を各々行くと、「推薦するかどうか」と「予備知識が必要かどうか」の2問以外はすべて有意差がある。すなわち、初級、中級下、中級上の読者の感想からは、レベルが上がるほど内容的にはより高く評価し、初級の「子供っぽさ」と「有益性」を除いてはすべて肯定に判断している。「話の構成」も同様の結果である。しかし、「英語」に関しては逆で、レベルが上がるほど難しいと感じているが、全体的にはまだ容易と判断している。理解度も同様の結果である。「図書を推薦するかどうか」と「読書に予備知識が必要かどうか」はレベル間の相違が明確でないが、全体としては推薦できるし、予備知識がなくても読み易い読物であると判断している。レベルが上がれば頁数も増え、読書時間も増していることが明白である。

頁数を独立変数として、他を従属変数として回帰分析をすると、「予備知識が必要かどうか」以外はすべて有意差がある。これはレベルが上がるのと同様、頁数が増加すると上記と同様の判断を読者がしていることがわかる。読書時間を独立変数として、頁数以外のものを従属変数として回帰分析を行くと、「図書が有益かどうか」以外はすべて有意差がある。以上から図書の興味、成熟度、満足度、構成のよしあし、文法、語彙と英語の難易度と話の理解度の判断には図書の難易度、頁数、読書時間が影響していることが分か



る。「有益かどうか」は図書の難易度と頁数が、「図書を推薦するかどうか」は頁数と読書時間が、「予備知識が必要かどうか」は読書時間が判断に影響している。

**アンケートの結果** 285枚回収したアンケートで、154名が図書を読み、128名が読まなかったことが分かる。読まなかった理由と読んだ理由を表4にまとめる。

表4 読んだ理由・読まなかった理由

| 読まなかった (128名) |    |            | 読んだ (157名)   |    |            |
|---------------|----|------------|--------------|----|------------|
| 読まなかった理由      | 第1 | 第2 計%      | 読んだ理由        | 第1 | 第2 計%      |
| 1. 忙しい        | 70 | 15 85 (34) | 1. 必修        | 92 | 1 93 (42)  |
| 2. 英語嫌い       | 6  | 13 19 (8)  | 2. 英語で読みたい   | 7  | 15 22 (10) |
| 3. 面白い本がない    | 14 | 23 37 (15) | 3. 追加点が欲しい   | 48 | 11 59 (27) |
| 4. 追加点が少ない    | 11 | 23 34 (14) | 4. 友達がやっている  | 3  | 14 17 (8)  |
| 5. 必修でない      | 13 | 37 50 (20) | 5. 面白い本を見つけた | 5  | 12 17 (8)  |
| 6. その他        | 14 | 12 26 (10) | 6. 先生の強い勧め   | 1  | 4 5 (2)    |
|               |    |            | 7. その他       | 1  | 5 6 (3)    |

第1と第2の理由を合わせると、読まなかった理由は「忙しい」が最大の34%、第2は「必修でない」(20%)、第3は「面白い本がない」(15%)、第4は「追加点が少ない」(14%)である。英語が嫌いだからはわずかに8%である。読んだ理由は第1の「必修だから」を除くと、「追加点が欲しい」が27%で、次の「英語で読みたい」の10%よりはるかに高い。「先生の強い勧め」はわずかに2%で、あまり読書をするための影響がない。

アンケートで、読書した者としてない者をt検定にかけると、「以前英語のテキスト以外で読んだ英語の本の冊数」以外、「この課題のために見た英語

の図書の冊数]、「このような課題が与えられたことのよしあし」、「読みたい図書が図書館にあったか」、「この課題で追加点が欲しいか」、「追加点は最高どの程度欲しいか」で有意差がある。その結果を表5に示す。

表5 読書した学習者としなかった学習者の比較

|          |        | 以前読んだ本の冊数 | 見た本の冊数 | 機会   | 読みたい本の冊数 | 追加点  | 何点   |
|----------|--------|-----------|--------|------|----------|------|------|
| 読書していない者 | (128名) | 3.02      | 3.28   | 3.09 | 2.24     | 4.09 | 12.3 |
| 読書した者    | (157名) | 3.29      | 6.95   | 3.76 | 2.76     | 5.32 | 16.6 |

個別調査で判明したことで、以前読んだ英語の本はテキスト以外はクラスで使用した副読本や予備校の英語の本を含めているものが含まれている。実際に読んだ者は図書館で平均約7冊見ており、読んでない者ですら3.28冊とかなりの関心を示した。「このような機会が与えられたことの是非」では、読んだ者は3.76で肯定、しかし読まなかった者は3.09で否定であるが、強い否定ではない。「読みたい本が十分にあったか」に関しては2.76と2.24でどちらも強く否定しているが、読んでいない者の方がより強く否定している。このような課題では「追加点が欲しいかどうか」では、5.32と4.09で強く望んでいるが、とくに読んだ者の願望が非常に強い。最高の追加点は16.6と12.3で2桁以上を望んでいる。

読書に都合のよい時は、休暇中が49%、学期中が17%、いつでもよいが15%、クラスですが13%、読みたくないが6%で、94%以上が読む方向で考えている。

次に読みたい英語の図書に関する第3希望までを表6に記す。

表6 読みたい英語の図書

| 読みたい本        | 第1  | 第2 | 第3 | 計   | %    |
|--------------|-----|----|----|-----|------|
| 1. なし        | 14  | 1  | 3  | 18  | (2)  |
| 2. 科学小説 (SF) | 13  | 30 | 20 | 63  | (8)  |
| 3. 科学的なもの    | 17  | 22 | 24 | 63  | (8)  |
| 4. 小説        | 68  | 55 | 51 | 174 | (23) |
| 5. 推理、冒険     | 100 | 43 | 40 | 183 | (24) |
| 6. ロマンズ      | 11  | 32 | 26 | 69  | (9)  |
| 7. ドラマ、詩     | 8   | 17 | 27 | 52  | (7)  |
| 8. 旅行記       | 13  | 30 | 25 | 68  | (9)  |
| 9. 外国文化      | 21  | 18 | 21 | 60  | (8)  |

単純合計で比較すると、推理小説と冒険物語が183名(24%)、次が小説で174名(23%)、後はほぼ同じであるが、ドラマと詩の人气が多少悪い(7%)。これ以外で希望の高かったのはスポーツ、有益な情報を提供するハウトゥもの、女性からは料理や刺繍等の希望もある。

読みたい図書のレベルでは、中級下が132名(47%)で最高、次が初級の76名(27%)、中級上と上級は49名(17%)と11名(4%)で、どれも読みたくないが16名(6%)である。

### 結果の考察と今後の課題

多くの学習者が英語の読書をしたいと思っている。実施期間がわずか数週間であるのに、読書の自由課題を3分の1の学習者が行い、最高10冊、平均2.2冊と意欲的に読んでいる。宿題の場合でも指定以上の2冊読んだ者が5名いるのは驚く。

読書は自由課題か宿題かにかかわらず60%以上のものが千語以内の本(初

級)を、27%以上のものが2千語以内の本(中級下)を選び、学習者の約9割がこの程度が何とか気楽に読めると考えていることが分かる。3千語以内の中級上を選んだ者は10%以下、上級を選んだ者は1-2%である。読書に慣れていないのであまり自信を持っていないことが分かる。

追加点を与えることは読書の強い動機付けになる。最高10点で実施したが、学習者は10数点までの追加点を求めている。宿題と自由課題の両方でほぼ図書のレベルの分布が同じで、クラス間の分散分析に有意差がないので追加点の違いの効果は断定できない。ただ、2点以上を取得しようとの傾向があり、3点以上取得する試みは2人のみである。したがって、1冊につき2点の追加点を与えるのが適当であると考えられる。今後の読書希望でも中級下と初級が70%以上で、中級上や上級の図書を読ませるには追加点以外の方法を考える必要がある。ただ初級の希望が大きく減少しているのは、読者が満足出来なかったことを意味し、読書について中級下を勧めるのがよい。読まない理由は多忙が多いので、休暇を利用するなり、長い期間実施すれば、さらに多くの者が読書する。また図書の冊数を増やし、学習者の興味に合う図書を確保することも重要である。読まなかった者でも図書館で平均3冊以上の図書を手に取って見ている事実があるのに読書欲のわく図書がないばかりに読まなかったのは残念である。推理小説、冒険物語、有名な小説を読みたいとの希望が多いので、この分野を今後は充実するとよい。図書のレベルは語彙数によるが、上のレベルほど頁数も多い。そのためか、上のレベルほど読書時間も長くなっている。この語彙数、頁数、読書時間は学習者が図書の内容判断に大きく影響している。上のレベルほど、頁数が多いほど、読書時間が長いほど、図書はより興味深く、子供ばくなく、より有益で、満足も多く、人に読書をより推薦できると思っている。また上のレベルほど話の構成もよく、英語は語彙、文法、全般的により難しく、予備知識も多く必要となり、理解も難しくなると判断している。しかし、全体的には図書の内容にはすべて肯定的で、容易な読物で理解できると考えている。このことからグ

レイデッドリーダーズは十分に読め、内容のある図書と判断できる。

以上検討してきたようにグレイデッドリーダーズを利用して、英語の読書指導を行うことは十分効果があるが、この際には、Hill と Thomas (1988b) の行った 12 シリーズのグレイデッドリーダーズの分析や、Livingstone 達 (1987) のカセットテープのものを含めたグレイデッドリーダーズの使用方法は大いに参考になる。

#### 注

\* このプロジェクトの実施には、山本雅代氏の協力を得た。

#### 参 考 文 献

- Harris, A.J. & Sipay, E.R. (1975). *How to increase reading ability*. New York: Longman.
- 橋本満弘 (1977) 英語教育と購読教材論「九州英語教育学会紀要」5号23-29ページ
- Hill, D. & Thomas, H.R. (1988a). Survey review: Graded readers (Part 1). *ELT Journal*, 42(1).
- Hill, D. & Thomas, H.R. (1988b). Survey review: Graded readers (Part 2). *ELT Journal*, 42(2).
- Kitao, K. (1983, February 17). Common misconceptions about reading English. *The Daily Yomiuri*, p. 7.
- 北尾謙治・北尾 S. キャスリーン・吉田信介・吉田晴世 (1985) 「大学生の英語読解速度の研究」中部地区英語教育学会「紀要」14 168-174ページ
- Kitao, K., Kitao, S.K., Yoshida, S., Yoshida, H., Kawamura, K., & Kurata, M. (1987). A study of trends of college English reading textbooks in Japan. (ERIC Document Reproduction Service No. ED 278 212) (米国)
- Kitao, K., Kitao, S.K., Yoshida, S., Yoshida, H., Kawamura, K., & Kurata, M. (1988). English textbooks in Japanese colleges: A study of trends and an analysis for 1985. *Doshisha Literature*, 33, 128-141.
- 北尾謙治・宮本英男 (1982) 「大学生の英語読解力——調査による一考察」『同志社大学英語英文学研究』30 135-165ページ
- 北尾謙治・宮本英男 (1983) 「大学生の英語読解力の問題点一誤答の傾向と推移」『同志社大学英語英文学研究』32 118-142ページ

- 北尾謙治・島谷浩(1988) 自主的な英語の読書指導——英書コーナーの設置 *The Language Teacher*, 12(2) 47-49ページ
- 北尾謙治・吉田信介(1985) 「大学生の英語読解力とそのスピードの研究」中部地区英語教育学会「紀要」14 28-34ページ
- 北尾謙治・吉田信介・吉田晴世(1986) 「大学生の英語読解力の問題点」中部地区英語教育学会「紀要」15 8-13ページ
- 小池生夫他(1983) 「大学英語教育に関する実態と将来像」(1) 大学英語教育学会
- Livingstone, C., Pike, H., Tadman, J., Tunnacliffe, D., & King, J. (1987). *The Longman guide to graded reading*. Harlow, Essex: Longman.
- 松村幹男(1984) 「英語のリーディング」大修館
- 小木野初(1983) 訳読と構造的読解「JACET 紀要」14号 137-150ページ
- Shanefield, L. (1986). ESOL at library: How to set up a collection. *TESOL Newsletter*, 20(5).
- 島谷浩・北尾謙治・S. Kathleen Kitao(1987年) リーディングの個別指導「現代英語教育」24巻7号 20-22ページ
- 竹蓋幸生(1982) 「日本人英語の科学」研究社出版
- Yoshida, S., Kawamura, K., Kurata, M., Yoshida, H., Kitao, K., & Kitao, S.K. (1986). Overall impressions of college-level English reading textbooks. *NCI Report*, No. 5, 2-3.
- 吉田信介・北尾謙治(1986) 「5つの英語読解テストを利用した大学生の英語読解速度及び理解度の研究」中部地区英語教育学会「紀要」15 183-188ページ

## Appendix A

### Pleasure Reading

It is fun to read English books. You will obtain information that you might not be able to get from Japanese books. You will find that some of the books which you may have read in their Japanese translations sound different and are sometimes more interesting than in their translated versions.

How many English books have you read since you started studying English several years ago? What! Not even one! Well, maybe that's not surprising. You may have been too busy studying to get good grades and pass college entrance exams. Now you have more free time. Why don't you read English books?

Some of you may have tried to read English books but may have given up. Some books are very difficult. There are many English books in our library, and you can try to read them if you have the confidence.

Even if you do not have the confidence to read the English books in the library, you can enjoy reading English books. There is an "English as a Second Language Corner" in the section of English books in our library. There are two shelves and about 210 books of various types. They include mysteries, biographies, classics, science fiction, plays, nonfiction, and adventure. They are divided into four levels according to the level of their vocabulary. The easiest level is elementary (E), which uses only 300-1,000 words. The second is low intermediate (LI), at the 1,000-2,000 word level. The third is high in-

intermediate (HI), which has 2,000–3,000 words. The highest level, advanced (A), has 3,000–7,000 words. Even the books of the advanced level are much easier than ordinary English books.

If you decide to read some of these books, it is a good idea to read something you are interested in, the kind of book you might ordinarily read in Japanese. For example, if you like to read Sherlock Holmes in Japanese translation, try reading one of his books in English. Read the first couple of pages and find out if it is the right level for you. If it is too difficult, try something easier. The four levels will help you to decide which books to read.

After you choose a book, the most important thing is that you enjoy reading it. Just try to understand the plot. Even if you find some words you do not understand, don't use a dictionary immediately. Guess the meaning from the context. It is not important to understand everything written in the book. It is more important that you enjoy reading and understand the overall ideas. If you try reading several books, you will improve your reading comprehension.



## Appendix B

### Book Report

Class \_\_\_\_\_ Student # \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

Title # \_\_\_\_\_

Publisher \_\_\_\_\_ Publication Year \_\_\_\_\_

Level \_\_\_\_\_ Size \_\_\_\_\_ x \_\_\_\_\_ # of Pages \_\_\_\_\_

Topic \_\_\_\_\_

Main Characters \_\_\_\_\_

Minor Characters \_\_\_\_\_

Time Period of the Story \_\_\_\_\_

Location of the Story \_\_\_\_\_

Time Required to Finish \_\_\_\_\_ hours \_\_\_\_\_ minutes

Boring                    1 2 3 4 5 6      Interesting

Childish                1 2 3 4 5 6      Not childish

Useless                 1 2 3 4 5 6      Useful

Unsatisfactory        1 2 3 4 5 6      Satisfactory

Not recommended    1 2 3 4 5 6      Recommended

Organization                      Poor    1 2 3 4 5 6      Good

Grammar                            Difficult    1 2 3 4 5 6      Easy

Vocabulary                         Difficult    1 2 3 4 5 6      Easy

English (as a whole)                Difficult    1 2 3 4 5 6      Easy

Prior knowledge assumed            Much    1 2 3 4 5 6      Little

Comprehension (content)            Difficult    1 2 3 4 5 6      Easy



## Appendix C

## ESL Reading Project Questionnaire

Class \_\_\_\_\_ Student # \_\_\_\_\_ Name \_\_\_\_\_

1. Did you take part in this project?
  - a. No    b. Yes
2. If not, why not? Indicate first and second reason.
  - \_\_\_ a. I was too busy.
  - \_\_\_ b. I do not like English that much.
  - \_\_\_ c. I could not find books I am interested in.
  - \_\_\_ d. Extra credit was too little for the work.
  - \_\_\_ e. It was not required.
  - \_\_\_ f. other ( \_\_\_\_\_ )
3. If so, why?
  - \_\_\_ a. It was required.
  - \_\_\_ b. I wanted to read something in English.
  - \_\_\_ c. I wanted to get extra points.
  - \_\_\_ d. My friends were doing it.
  - \_\_\_ e. I found an interesting book.
  - \_\_\_ f. My teacher strongly recommended it.
  - \_\_\_ g. other ( \_\_\_\_\_ )
4. Besides textbooks, how many English books have you read through (including the ones for this project)?  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 more
5. How many books in the ESL Corner did you look at?  
0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 more
6. Were you happy to have a chance to read an English book?  
No 1 2 3 4 5 6 Yes
7. Were there enough books available?  
No 1 2 3 4 5 6 Yes
8. Would you like to get extra points for this type of project?  
No 1 2 3 4 5 6 Yes

9. If so, how many points out of 100 final points are adequate for the work ?

0 1 2 3 4 5 6 7 more ( )

10. When would you like to read English books?

- a. never
- b. during the vacation
- c. during the school year
- d. in classes
- e. any time

11. What types of English books would you like to read? Choose the first, second and third.

- \_\_\_ a. none
- \_\_\_ b. science fiction
- \_\_\_ c. science (nonfiction)
- \_\_\_ d. novels
- \_\_\_ e. mystery/adventure
- \_\_\_ f. romance
- \_\_\_ g. drama, poetry
- \_\_\_ h. travel
- \_\_\_ i. foreign culture (countries)
- \_\_\_ j. other ( )

12. Which level of English books would you like to read most?

- a. none
- b. elementary ( -1000 words)
- c. low intermediate (1000-2000 words)
- d. high intermediate (2000-3000 words)
- e. advanced (3000- words)

13. Comments \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

## Synopsis

Independent Reading in English  
— Use of Graded Readers in the Library  
English as a Second Language Corner —

Kenji Kitao

Reading has been the most emphasized skill in English instruction since its inception in the late nineteenth century. Grammar-translation has been the most commonly used method in Japan since that time. However, recently, because of rapid internationalization, the study of English for the purpose of communication has increased in importance. Listening and speaking are emphasized more than they were before, but the total number of English instruction hours has been reduced in junior and senior high schools. In addition, college students' reading proficiency of English is not high, and they read slowly.

Since we have only forty clock hours for each English course, we experimented with independent reading outside of the classroom, using about 220 graded readers in the English as a Second Language Corner in our library. This project was carried on from April, 1988, to June, 1988. There were four levels of graded readers: elementary (70 books), low intermediate (70), high intermediate (35), and advanced (35). The levels of the books are determined according to their vocabulary level: elementary—less than 1,000 words; low intermediate—less than 2,000; high intermediate—less than 3,000; and advanced—

3,000 and above, respectively.

We offered this opportunity to read independently to seven freshman English classes and two sophomore English classes, 300 students in total. Since there were only 220 graded readers at that time, we offered this instruction for 4-5 weeks apiece to different classes and avoided a situation where students might not be able to get books.

We discussed suggestions for reading graded readers (Appendix A) in class. We gave students a list of all the graded readers that were available and copies of the report sheet (Appendix B). We offered extra points for this extra work in six classes, with the number of points, in some cases, depending on the level of the books read. The reading was assigned as required homework in three classes. We gave a questionnaire (Appendix C) to all students in the nine classes at the end of June and the beginning of July. We analyzed the results of the report and the questionnaire by computer.

Out of the 300 students, 161 read at least one book and turned in a report. For extra points, 69 students out of 207 did the reading. As required homework, 92 out of 93 students did the reading. Students who did the reading in return for extra points turned in a total of 153 reports, an average of 2.2 per student and 10 reports at most. In addition, we collected 285 questionnaires.

Sixty-two percent of the students read a total of 155 elementary books. Using ANOVA to analyze the differences between students who read books for extra points did not indicate that offering more extra credit points influenced the level of the books read. There was some tendency for students to read higher level books for two or more points, but the difference was not significant. Ninety percent of books

read were elementary and low intermediate. Based on the comments in response to the questionnaire, it did not appear that students had much confidence that they would be able to read through the books, so they started with either elementary or low intermediate level books.

There is a correlation between the levels of the books and the number of pages and between the level and time students spent reading a book. Students found that the higher the level, the more interesting, mature, useful, and satisfactory the books were, and the more strongly they would recommend them to friends. As for the language used in the books, the higher the level, the better organized the books were found to be, and the more difficult the grammar, vocabulary, and English as a whole were found to be. Students also found that the higher the level of the books, the more preknowledge was necessary for comprehension and the more difficult they found it to comprehend the story. However, they did not think that the language was too difficult, and they felt that they could understand the books.

As for the 285 questionnaires, 154 of those who returned the questionnaires had read at least one book, and 128 had not. The most common reason they gave for not reading any books was being too busy, and the second most common was that it was not required. Students who had read at least one book looked at an average of seven books in the library, and students who had not read any books looked at an average of 3.28 books. At minimum, this project gave students good opportunities to see the graded readers. The responses to the questionnaires indicated that students were glad to have had this opportunity to read graded readers. They could not find enough books which they were interested in. They wanted very much to earn the

extra points for this project. The best time for this type of project would be during vacations. Students were most interested in mysteries and adventures, and then novels. They wanted to read low intermediate level books most, then elementary, high intermediate and advanced, in that order. Only 16 students responded they would not want to read English books at any level.

As I have discussed, offering students an opportunity to read graded readers independently seems to be effective, and many students are interested in reading English books. If the opportunity were offered during the summer or winter vacations, more students would participate in it. One aspect that teachers need to be concerned about is how to motivate students to participate in it.